



賀茂高等学校 同窓会 会誌 vol.12

令和2年12月23日発行

賀茂高等学校
同窓会事務局

東広島市西条西本町16-22
TEL.(082)423-2559

URL
<http://kamodosokai.html.xdomain.jp>
email: k_aoi20149@royal.ocn.ne.jp

第68回 賀茂高校同窓会総会 及び懇親会のお知らせ

日時

令和3年8月1日(日)
10:30 受付開始
11:00 開会

会場

グランラッセー東広島

会費

6,000円

当番幹事

S46年・56年
H3年・11年・21年卒

お問い合わせ

賀茂高校 同窓会事務局

「以前」と「以後」を 繋ぐもの



同窓会会長
川崎 信文
(昭和45年卒)

今年1月に始まる新型コロナの蔓延、夏の長雨と酷暑というまれに見る災難の一年でした。コロナ禍は未だに終息の気配を見せず、来年の東京オリンピックの開催すら懸念される試練の中にあります。

このような陰鬱な世相の中、同窓会員の皆様はいかがお過ごしでしょうか。防疫や治療の最前線で日夜奮闘されている会員も少なくないと思われまます。

8月の同窓会総会が見送られたばかりか、高校の教育活動、部活動等も大きな制約を受けました。学年歴の変更、各種行事やスポーツ・文化活動の自粛、中止や開催規模の変更に加えて、何よりも感染者の発生と蔓延の防止が、教職員や現役生において最大の懸念であり、細心の注意を払われてきたであろうことは想像に難くありません。

時代を画する事件には、革命に代表される政治体制の変化や大規模な戦争とその惨禍以外にも規模の大小を問わず数多くあります。北米に

始まり福祉国家成立の梃子となった1930年代の世界恐慌、日本では東京下町に残っていた「江戸」を最終的に消滅させたとされる関東大震災、近年では核技術への信頼を揺るがせた東日本の大震災などがそれに相当します。70年代半ばのオイルショックと高度成長の終焉やバブル経済の崩壊もそれに加えてよいでしょう。

いずれも、人々の日常生活にまで及ぶ意識と行動の変化を生み出し、やがて事件の「以前」と「以後」が語られ、「世代」感覚や意識が論じられます。コロナ禍についても、そうしたタイトルを付した出版物や特集番組も目立つようになりまました。

それでも、こうした世代の違いを越えてなお持続し、貫いて行くものがあるのも確かです。本号に掲載された太田さんからの聴き取りに際して、お聞きしたことです。寮生活を伴う勤労働員のさなか、巡察で工廠を訪れた若い海軍士官に色めき、さんざめく10台半ばの女学生の様子です。そこに観られるのは、生活様式や情報環境に大きな違いはあれ、どの世代にも現役生にも共有される心性ではないでしょうか。

世代と世代を繋ぐものこそ、若い息吹にあふれた西条西本町の校地であり、学舎であり、そこで3年あるいは5年を過ごしたという事実です。いつの日か、会員達が世代を超えてこの地で送った出来事を縦横に語り合う、そういうイベントが開催できないものか。

こんな夢想をしながら、来年夏こそ皆様と再会できるよう祈念しています。

二十一世紀の

「賀茂葵」を掲げて



校長
山田 剛司

平素より同窓会の皆様には本校教育に対し温かいご支援を賜りまして、深く感謝申し上げます。

四月に赴任した頃からコロナ対応に汲々としており、秋になってようやく学校の経営方針、教育内容などに向き合えるようになったというのが正直な実感です。

平成から令和へ、時代は大きく変貌していきます。生産年齢人口の減少、外国からの人口流入、技術革新の進展による産業構造や雇用環境の変化、地球規模の環境問題と、二十一世紀に生きる私たちは、これから予測不可能な様々な問題に直面するでしょう。だからこそ、今学校教育において二十一世紀型能力の育成が求められています。これは二十一世紀を生き抜く資質・能力で、「基礎」「思考」「実践」の三観点で構成されますが、私は特に「実践」を重視したいと考えています。

「実践」とは、実社会における自分の生き方を主体的に選択するキャリア設計力、他者とコミュニケーションをとり協力して社会づくりに参画する力、倫理や社会人の責任を自覚して行動する力などが含まれます。つまり社会に繋がる力、他者と協力し社会に貢献して生きていく力と言えましよう。

賀茂高の校章「賀茂葵」は、「信・敬・愛」を表す三枚の葵の葉が中央でしっかりと組み合い、全生徒が愛情を持って信頼し合い、尊敬し合っています。まず立派な校風を創つていこうという賀茂高生同士の心意気を表していると同つています。しかし、二十一世紀を生き抜く賀茂高生は、仲間や同窓、つまり内とがつつり繋がるのはもちろん、大切なのは外、地域社会から世界の人々ともまで「信・敬・愛」で繋がろうという気概が必要だと思つたのです。「賀茂葵」の教える「信・敬・愛」は、二十一世紀の社会を生き抜く力の象徴であつて欲しい、と考えています。

令和四年から年次進行する新学習指導要領のキーワードは「社会に開かれた教育課程」です。社会とは言い換えれば実社会で活躍されてきた同窓会先輩諸氏であるといつてもよいでしょう。

社会に繋がる賀茂高教育を構築するため、実社会における教育資源を学校が活用できるよ、社会の風を、働くにおいを、学校の中にもつともつと入れたいのです。皆様のお力添えをいただきますようお願い申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。

同窓生訪問

被爆75周年を迎えて

本校の前身である賀茂高等女学校を卒業された同期生お二人のご自宅を訪問しました。お二人とも、15歳・16歳で体験された事実を、まぎれもなく、そして平和の有難さをかみしめながら丁寧にお話をしていただきました。

東広島市在住

太田 文枝さん宅



9月24日、文化財保護法の規定により、本年7月に国の有形文化財として登録されることが決まった太田家住宅を訪問しました。

賀茂高校から歩いて10分、半尾川近くの旧西国街道沿いに位置するこの家屋にお住まいの太田文枝さん(91歳)は、賀茂高等女学校を昭和21年に卒業されました。ご結婚後、もともとは叔父ご夫婦がお住まいであったこの家屋に、縁あって移り住まれたそうです。

建築は明治38年から昭和初期の間で、赤瓦の主屋2階部分には黒色のタイルが貼られ、その両端には延焼を防ぐ「袖うだ」が取りつけられています。1階玄関付近には平格子や出窓格子の戸が見られ、繊細で趣のある町屋建築と



なっています。お話を伺った応接間からは、長さ11m、直径60cmもの頑強な梁を見ることができました。また、北側の山陽本線に向けて、離れや茶室そして美しい内庭が配置されています。ちなみに、太田さんのご実家にあたる岡田家住宅(酒蔵通りに位置する岡田酒販様)も同時に登録されました。

太田さんが賀茂高等女学校に入学されたのは昭和17年。戦況は次第に悪化し、女学校での生活も、入学当初から「もんぺ」をはいての勤労奉仕中心の生活になっていったそうです。昭和20年の3年生3学期からは、広にあった海軍工廠で飛行機の部品を旋盤で加工する仕事に従事されました。親元から離れ、食糧不足や三交替制での勤務は、肉体的にも精神的にも辛い日々であったと想像できます。

同年5月の大規模な空襲を機に、作業は閉鎖的なトンネル内で引き続き行ったそうです。太田さん自身も「この広の地で生涯を終えてしまふのかな」と何度も思ったそうです。それでも、終戦までに何回か実家に帰られたそうで、「広から級友と一緒に山中をかき分けて黒瀬の乃美尾方面まで歩いて帰ったことが懐かしい思い出です」と笑顔で話されました。

8月6日の原爆投下や8月15日の終戦を広の宿舍で迎えられた太田さんらは、後日、汽車で西条



駅まで帰り着いたそうです。その後、疲れを癒す間もなく、被爆者の救護・応援活動の第2陣として級友とともに広島市に入った太田さんは、段原の第一国民学校において献身的に活動にあたられました。生き絶え絶えの被爆者に炊き出しのおにぎりやお粥を配ること、赤チンで傷口の手当を行うこと、遺体の搬出等が主な活動でしたが、悲惨で厳しい状況の中、「なぜか、淡々と作業を行った記憶があります」と語られた言葉がたい

心に残る、おいしいを求めて



金光酒造

金光 正昭 (昭和29年卒)
金光 秀起 (平成6年卒)

ホームページ: <http://www.kamokin.com/>
所在地: 広島県東広島市黒瀬町乃美尾1364-2
Tel 0823-82-2006 Fax 0823-82-7948

耕そう、大地と地域のみらい。

広島中央農業協同組合

広島県東広島市西条栄町10番35号



へん印象的でした。

ご自宅にお邪魔して約2時間、鮮明な記憶とともに、「語ることで何かお役に立てれば」という思いでお話をいただきました。貴重なお話をありがとうございました。これからもお元気で過ごしてください。

東広島市在住

江戸 芳江さん宅



10月11日、東広島市志和町にお住いの江戸芳江さん(91歳)のご自宅を訪問しました。江戸さんも昭和21年に賀茂高等女学校を卒業され、広島師範学校女子部本科を経て、小学校教諭として初等教育の道に進まれました。昭和62年、東広島市では初の女性校長として東広島市立小谷小学校へ着任され、新校舎の建設及び移転といった教育環境の整備や教育研修の推進にあたられました。定年退職後は、東広島ユネスコ協会ネットワーク交流委員会の委員長として、何度もネパールを訪問され、識

字教育の推進や生活支援活動等に従事されたそうです。また、同窓会役員としても80周年や100周年の周年行事の成功にご尽力いただきました。

昭和17年に賀茂高等女学校へ入学された江戸さんですが、3年生に進級した年(昭和19年)から勤労働員が通年となり、女学校での授業を受けることはほとんど無くなったそうです。また、この年から女学校は広島陸軍被服支廠の学校工場となり、多くのミシンが持ち込まれました。江戸さんは代表生徒として、広島市南区出汐にあつた広島陸軍被服支廠において約1か月のミシン修理技術を学び、学校工場では同級生や後輩の指導にあたられたそうです。そして、3年生の3学期からは、太田さんら同級生と共に、呉市広にあつた海軍工廠で旋盤加工の仕事に従事されました。4年生になると、縫製作業に従事する後輩の指導のために学校へ帰り、地元で原爆投下の8月6日及び終戦を迎えられたそうです。さらに、8月17日からは被爆者の救援活動のため、太田さんと同じく、段原の第一国民学校において、食事の配膳や傷の手当等にあたられました。

激動の青年期を過ごし、教職を



終戦から75年。時は流れ、戦争や被爆といった歴史的事実の風化が懸念されています。そして、その継承の在り方も問われています。賀茂高等女学校の諸先輩方をはじめ、日常の生活や学びの機会を奪われた経験者の声を聞き取り、その生き方に学び、次の世代に継承していくことは今を生きる私たちの課題であることを再認識いたしました。

被爆者救援の活動については、昭和22年卒業生の手記をまとめた「姫さゆり」(1998年発行)、同じく同期生で女学校3年生まで在学した芥川賞作家 大庭みな子のエッセイ「地獄の配膳」などで当時の様子を知ることができます。

(文責 大石)



街・づ・く・り
上垣組
KAMIGAKI-GUMI
KAMIGAKI

株式会社上垣組
〒739-0036 東広島市西条町田口1437
TEL(082)425-1010 FAX(082)425-1011
http://www.kamigaki.co.jp/



24時間受付
御葬儀 佐伯葬祭
東広島さいき フォレストホール やすらぎ会館
東広島市西条本町17-9 (本部) ☎(082)422-2785(代) ☎(082)422-7444(FAX)

同窓生だより

私の歩んできた道

七宝作家 昭和29年卒 岡垣(儀部)敦子

珍しく、同級生の武田さんからの電話。高校の同窓会誌に、在学時の思い出や卒業後の事、現況等を書いて欲しいとの依頼であった。肯否はあやふやに返事をしたつもりだった。ところが二日後、事務局長さんから丁重な依頼書を書き、慌ててしまった。なにしろ、私たちの高校時代は六十五年以上も前の事である。記憶はあいまいだが、兎に角思い出してみた。

私たちは県立西條高等学校に入学した。だが、三年生の始め、普通科と家庭科は元の県立女学校の木造校舎に移り、その後、広島県立賀茂高等学校となった。バタバタした高校時代であったが、先生には恵まれた。



個性豊かな先生が多くおられた中、生物の多田義行先生が心に残っている。当時、初めて部活らしいものがあったとき、私は多田先生が担当の生物班に入った。男女九人が毎放課後に集まって、自主的に何かの研究をしていた。私はメダカの飼育をしていた気がする。先生はいつも私たちに話される言葉があった。「何でもよく見ることができるはずだ。」この言葉は不思議に心に残っている。

私たちは、まだ戦後の余波が残る時代、校歌もないまま昭和二十九年に新しい価値観を持つて第二回生として卒業。私は三年後、新聞社にいた叔父から東京の桑沢デザインスクールの情報を知らされる。私は即上京試験に合格し入学。本格的に「デザイン」として勤務。その三年後、日本現代工芸展に出会う。日用を主とする工芸が美を表現している、その斬新さに深く感動した。後に、主人の仕事上、鳥取に住む事になったと

き、七宝作品をその現代工芸展、日展と出品する。何回か入選を果たし、以後、七宝作家となり雅号を幸得とする。七宝とは、金銀銅の金属の釉薬を焼き付けた工芸品だ。この性質上、壁面に合うかと思ひ、鳥取の各報道のトップ、市長に訴えた結果、二年かけて、鳥取福祉会館のロビーに、市民五百人のボランティアも参加して日本最大の七宝壁画が完成。その製作途中、同級生六人の来訪を受け、多忙な時なのに心の安らぎを覚えた。その後、日本七宝作家協会の理事、常務理事として二十年務め、現在は協会特別会員となっている。

母校の玄関にある「念」は、一九九五年東京上野の森美術館で開催された、日本七宝作家協会国際展で審査員を務めた時の出品作である。いろいろな思いを心に持っている心象風景である。

次世代に託す

東広島市立磯松中学校校長

昭和56年卒

竹原 弘長



このたび、会誌「かもあおい」への寄稿依頼を受け、三〇年ぶりに

開いた卒業アルバムには、クラブ活動、学園祭、修学旅行、クラスマッチなど高校時代の懐かしい思い出

が詰まっていた。私は、当時美術班に所属していました。毎年、お盆前には合宿を行い、県美展へ出品する作品を仕上げていました。体育館から運び出した畳を美術室の黒板前に敷いて仮眠場所を作り、蚊取り線香を焚きながら、徹夜で五〇号のキャンバスに真剣に向き合いました。準備室のガスコンロで、ソーメンをゆでて食べたこともよい思い出です。沢山のOB、OGが陣中見舞いに来てくださり、美大や大学での武勇伝を語って合宿を盛り上げてくださいました。私は、今、中学校で教職に就いています。美術教師になろうと決めたのは高校二年の時でした。美術班の顧問だった小泉祥二郎先生が毎日楽しそうに授業をされていた姿が大きく影響しています。私と同じように教職の道を歩んだ同級生は二〇名近くいますが、皆さん賀茂高時代に教職を目指そうと決意できる学びがあったのだと思います。

この仕事をしていると、これまでに賀茂高校の卒業式に来賓として出席する機会が数回ありました。そこでは希望に満ち溢れた卒業生に出会い、彼らの無限の可能性をとても羨ましく思ったのを覚えています。そして、高校時代にもどれたら、まず何をしようかと考えてしまう自分がいました。

今はコロナ禍。令和二年の卒業式、入学式は来賓の出席は無く、在校生の一部と保護者のみの出席となりました。そして、今年度の賀

茂高校同窓会総会及び同期会が中止となりました。コロナにより今までどおりが通用しなくなった世の中に、人間の考える力、新しい環境に適應する力などが試されている気がします。教育においても、一〇年後、変化の激しい時代、予測が困難な社会の中にあっても柔軟に生きることが出来る資質・能力を身に付けさせることが求められています。児童・生徒一人一台タブレット時代も始まりです。定年まで残り二年余り。課題は山積しています。が、次世代のために微力ながら全力を尽くす所存です。

最後に賀茂高校の益々のご発展と在校生、会員の皆様のご多幸をお祈りいたします。

高校時代の思い出と近況

東京医科歯科大学医学部附属病院

糖尿病・内分泌・代謝内科 診療科長

平成元年卒

山田 哲也

平成元年に卒業して30年余りが過ぎましたが、年末年始に帰省した折に同窓会誌「かもあおい」をいつも読んでいます。特にご指導頂いた先生方の「恩師は今……」や「同窓生だより」などでは、在校時代に思いを馳せています。私自身の高校時代の一番の思い出は部活動になります。バレーボール部に所属し顧問は上西幸治先生(英語科)でした。とにかく練習が厳しかったこ

とをよく覚えていきます。授業前の朝練習から始まり、授業中は睡魔と闘い、授業後はすぐに練習の日々が続くわけですが、上西先生ご自身が私たちと全く同じ練習メニューを軽々とこなされるので頑張るしかありません。私が忘れてしまったのかもしれないのですが、細かい技術指導を受けた記憶はほとんど残っておらず背中から大切なことを学ばせて頂きました。中学時代もバレーボール部に所属していたのですが弱小チームであり、入部したときに出会ったチームメイトは強豪校の出身者が多く、ついていくのがやっとでした。それでも何とか続けていたところ、2年生の頃から試合に出してもらえようになり県大会でベスト8まで勝ち進めたことは、全くチームメイトのおかげなのですが人生の糧になっています。

3年生の夏に引退してから将来の進路を真剣に考えるようになりましたが、一生懸命努力して最後まで続けることができた達成感から抜け殻のようになってしまい受験勉強に身が入らない時を過ごしました。1年の浪人の後、山口大学医学部に進学、卒業後の大半を東北大学病院糖尿病代謝内科(宮城県仙台市)で過ごし、2年半前に東京医科歯科大学医学部附属病院の糖尿病・内分泌・代謝内科に異動しました。東京都の文京区にある当院では、新型コロナウイルス感染症の患者さんの診療にも積極的に取り組んでいます。流行の兆しが見え始めた2月中旬頃は呼吸器疾患を専門とする呼吸器内科で診療を担当していました。間もなく感染



病棟で糖尿病・内分泌・代謝内科のスタッフと
(前列左から4番目が著者)

が拡大し附属病院の全診療科の協力が必要な状態になりました。患者さんが次々に入院される状況で医療現場は相当な緊迫感に包まれました。「一般の外来や入院などの通常診療をかなり縮小し医療職員のみならず事務職員も全員が協力して対応している中で緊急事態宣言が発令され、なんとか第一波を乗り越えたというのが実情です。この原稿を書いている10月初旬は第二波のピークが過ぎ落ち着きを取り戻しつつありますが、冬に向けて危惧されている第三波に対応すべく準備を進めています。実は、私は東北大学病院に勤務しているときに東日本大震災を経験しました。多くの方が亡くなられ、社会インフラも壊滅的な打撃をうけるという想定を超える災害でしたが、皆で協力して乗り越えてきました。今回のコロナ禍も、皆と力を合わせて頑張れば乗り越えられると思っています。今年はずしづりに昔のバレーボール部のメンバーで集まろうという話

もあつたのですが、残念ながら行えていません。コロナ禍が収束し上西先生を囲んで当時のチームメイトと飲める日を楽しみに、自身の感染にも気を付けながら頑張りたいと思います。

人生セレンディピティばかり

広島大学大学院

人間社会科学部研究科講師

平成9年卒

北基

如法

セレンディピティという言葉があります。童話『The Three Princes of Serendip』からきた造語だそうです。「予期せず、良い出会いや発見をする才能のこと」というような意味です。意識して「運命のいたずら」と言う人もいます。僕はまだ若いつもりですが、賀茂高校を卒業して随分経ち、40歳を超えたので半生を振り返ってもよいぐらいになってしまいました。振り返ると、セレンディピティにとっても恵まれたと感じていますのでいくつかご紹介いたします。

関係ないですが、40歳前後のことをaround forty、略してアラフォーと言いますね。しかし、40歳のことを不惑というのでaround不惑、略して「アラフワ」と言った方が「ゆるふわ」みたいでかわいいので「アラフワ」と呼ぶことを提唱しています。

閑話休題、そんなアラフワの僕が高校3年生のとき高校の数学の教員を目指していたところ、担任の恩師西谷先生の助言で大学は教育学

部の数学科教員養成系の課程ではなく、理学部数学科に進みました。どちらに進んでも数学もやるし教員免許も取れるので受験区分の多い後者を先に受けてみてはという助言でした。教育学部に進んでいたら高校の数学の教員になれていたかもしれませんが、数学科に進んだことによつて数学そのものを勉強して、気付いたら大学の数学の教員になっていました。全くもってセレンディピティとは思えません。

そうこうしているうちにコロナ禍となり、大学も大変なことになるました。日本は大学もICTを活用した授業は発展途上で、ましてやりモート講義などしたこともない教員がほとんどです。僕は子供の頃からコンピュータが好きでいろいろやっていたところ、大学の今いる部局で、部局内の他の先生方が遠隔講義をするための具体的なツールの操作など、サポート・質問受付をする役割を学部長から仰せつかりました。好きだからやっていただけに繋がることが増えました。

好きだからやっていただけのことと言えば、Nox社製品経由で米国Apple社の製品が好きになり、初代iPadが発売された2010年に、そのiPadの公式ビデオを遊びで広島弁に吹き替えをしたところ、ネットの一部でかなり広まりました。そのおかげで、僕の声を、NHKのiドームくん、養命酒、バファリンのウエブCMの声(広島弁吹き替え)に使っていたいたり、最近では眼鏡市場のテレビCM(4年連続)の広島弁の声に使っていただくよ

うになりました。初めは好きだからApple製品のビデオの吹き替えを作ったのですが、それがまさか広島カープの外国人選手の吹き替えを、事もあるうに広島弁でさせていただけなんて夢にも思っていませんでした。運命のいたずらとしか言いようがありません。声が広島県でかなり流れたこともあり、昨年は、声だけではなく、RCC中国放送の『イマなまつ』(現『イマナマ』)という番組のコメントータをさせていただきました。3週間に1度の生放送に定期的に出てしゃべる経験はこれまでなく、とても新鮮で勉強になりました。

どれも狙ってやったことではなく、予期しない、セレンディピティばかりです。また、好きでやっていることは続けていると予期せず良いことに繋がることがあると日々感じています。



賀茂高校の近況

雨中の体育祭 9月17日(木)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、合唱祭や賀茂祭、姉妹校交流等、学校行事の多くが中止を余儀なくされました。そんなコロナ禍において、感染対策や競技種目の工夫を施し、体育祭は実施の運びとなりました。前々日の予行演習は晴天の下で行われましたが、当日は時折強い雨に見舞われる一日でした。しかし、在校生にとっては日頃の鬱憤を晴らし、級友たちと思い切り楽しみ、思い出に残る体育祭になったようです。



高校生にも選挙権 10月15日(木)

東広島市選挙管理委員会による「選挙出前講座」が開催されました。選挙管理委員会の委員長を務める本同窓会の川崎会長が開会の挨拶を行いました。選挙権年齢の引き下げにともない、高校生に対する「政治的教養の教育」が重要となっています。当日は2年生全員が、模擬選挙を通して選挙制度の基本や投票行動の実際について学びました。本校の旧体育館は市内の投票所として利用されています。

変わる教室 10月17日(土)

母校に対する教育支援の一環として、同窓会から電子黒板機能付き短焦点型プロジェクターを寄贈しました。場所は南1号館4階401号教室です。授業におけるICT機器の活用や生徒一人一台のパソコン導入等、授業スタイルや学び方は大きく、そして急速に変化しています。



本城内科小児科

院長 本城典彦(昭和36年卒)

休診日／火曜日、金曜日午後
日曜日・祝日は診療

診療時間／ 8:00~12:30 14:30~18:00

西条中央8丁目3-3(黒瀬川沿い) TEL 082-422-6744

早志歯科診療所

院長 早志光由(昭和42年卒)

〒739-0014 東広島市西条昭和町13-37
TEL(082)423-9195 FAX(082)423-9195

令和2年度部活動主な実績

大会名	部活動名	競技種目等	結果等
令和2年度 広島県高等学校総合体育大会 代替大会	アーチェリー部	女子団体	第1位
		女子個人	第1位
	ハンドボール部	女子	第2位
	水泳部	女子100m背泳ぎ	第1位
女子200m背泳ぎ		第1位	
第44回全国高等学校総合文化祭	軽音楽部(apricot)	軽音楽部門	広島県代表として WEB出演



アーチェリー部



女子ハンドボール部

令和元年度 卒業生(2020年3月)の進路実績(現役合格者数)

【国立大学】	合格	【県内私立大学】	合格	【短期大学】	合格
広島大学	9	広島文化学園大学	9	比治山大学短期大学部	3
山口大学	6	比治山大学	7	広島文化学園短期大学	1
島根大学	4	広島経済大学	17	安田女子短期大学	2
愛媛大学	8	広島工業大学	36	その他	2
大阪教育大学	1	広島修道大学	77	合計	8
帯広畜産大学	2	広島女学院大学	19		
静岡大学	1	広島文教大学	7	【看護専門学校】	合格
長崎大学	1	福山大学	11	広島市立看護専門学校	1
高知大学	1	安田女子大学	72	呉医療センター附属呉看護学校	3
琉球大学	1	広島国際大学	46	尾道市医師会看護専門学校	1
合計	34	広島都市学園大学	5	合計	5
		近畿大学工学部	55		
		合計	361		
【公立大学】	合格	【県外私立大学】	合格		
県立広島大学	11	福岡大学	2		
広島市立大学	10	同志社大学	2		
福山市立大学	8	立命館大学	1		
尾道市立大学	5	龍谷大学	2		
他県の公立大学	22	武蔵野美術大学	2		
合計	56	その他	29		
		合計	38		
				【専門学校等】(看護系除く)	合格
				広島県理容美容専門学校	2
				広島公務員専門学校	3
				その他	7
				合計	12
				【就職】	合格
				広島県(小中学校事務)	2
				広島市消防局	1
				有限会社賀茂産業	1
				合計	4

社会福祉法人 広島福祉会
 ~老人介護のことならご相談ください~
特別養護老人ホーム・養護老人ホーム
造賀福祉園
 東広島市高屋町造賀708 ☎082-436-0009
サービス付高齢者向け住宅
シニアマンション造賀
 東広島市高屋町造賀734-1 ☎082-430-2005

最高位経済産業大臣賞二年連続受賞

第23回・第24回全国伝統的
 工芸品仏壇仏具展において、
 最高位である経済産業大臣賞を
 連続受賞しました。

お気軽に
お越しください

蓮池うるし工芸館 東広島市高屋町高屋東1054-1(芸福パルコ社前)
 TEL.(082)423-2876

同期会・クラス会・支部会だより

2月以降の新型コロナウイルス感染症の拡大により、同期会等の開催報告は1件にとどまりました。事務局では同期会・クラス会等の開催にあたって、支援金を提供しておりますので、コロナの収束状況を勘案しつつ、開催の折には事務局にご連絡ください。

第8回賀茂高校同窓会関東支部会

令和2年2月11日(火)13時(銀座TAU地下「遠音近音」)

例年この時期に開催している関東支部会も8回目を迎えました。今年は現役の校長先生をお迎えするとともに、初参加の方も2名あり、総勢32名のにぎやかな会となりました。最年長は昭和29年卒の三好さんと錢本さん、若手は平成12年卒の田中さんと山中さんです。世代を超えて、当時の様子や現況について話は尽きず、あっという間の2時間でした。最後は全員で校歌を合唱して散会となりました。なお、令和3年2月に予定していた第9回関東支部会は、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ですので、やむなく中止とさせていただきます。(代表 藤瀬 活子さん)



広島版「学びの変革」推進寄附金について

広島県は、総務大臣から、ふるさと納税の対象となる地方団体として指定を受けています。ふるさと納税とは、自治体に対して寄附を行った場合、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です(一定の上限があります)。県内在住の方でも、県外在住の方でも、同様の控除を受けることができます。また、母校を応援したい方は、寄附先として広島県立賀茂高等学校を選ぶことができます。ぜひ、この制度を活用して、母校を応援してください。

■ 納付方法

クレジットカードご利用の場合は、インターネットの「ふるさとチョイス」広島県ページからお申込みください。納付書(日本国内のみ)ご利用の場合は、広島県教育委員会学校経営戦略推進課(電話:082-513-4961)からご自宅へ納付書をお送りしますので、指定金融機関で納付してください。

■ 控 除

所得税及び住民税の控除には、税務署への、e-Tax(電子申告)ないしは手書やパソコンで作成した申告書の提出による確定申告が必要です。

詳しい情報は広島県教育委員会のホームページでご確認ください

同窓会事務局では、引き続き同窓生のネットワークを広げ、組織の活性化や母校支援に取り組んで参りたいと思います。同窓生の皆様には、引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。4月からリニューアルした賀茂高校同窓会ホームページへもアクセスしていただければ幸いです。また、ご遠慮なく母校や同窓会事務局へもお越しください。

さて、今年はコロナウイルス禍によって、同窓会総会をはじめとして各同期会や学校行事等の中止が相次ぎました。したがって、「かもあおい」(第12号)の作成においても、例年とは少し異なった編集を余儀なくされました。その中で、終戦及び被爆75周年の節目の年に当たる今年、賀茂高等女学校出身の先輩方から当時の貴重なお話を伺い、世代を超えて同窓生の皆様にお伝えすることができたことは幸いであつたと思います。また、「同窓生だより」や現役生の活躍から、前向きな姿勢を感じとることもできたように思います。

本年9月、元同窓会長である竹井清氏の訃報が届きました。同窓会における各校種間の連携及び組織の安定に、寛容な心でリーダーシップを発揮していただきました。心からご冥福をお祈りいたします。



FRAME

http://www.frame-magic.com

鍋島 道樹 (昭和54年卒)
Michiki Nabeshima

美容室って髪を切るだけなの?
変わるよ

<p>FRAME 高尾 東広島市高尾町3199-10 TEL:082-434-0416</p> <p>FRAME plus 東広島市高尾町中島332-4 TEL:082-439-1255</p> <p>FRAME square 東広島市西条栄町4-1 TEL:082-431-3716</p> <p>FRAME central 東広島市西条町下見4279-3 TEL:082-490-3916</p> <p>FRAME 宇賀院 東広島市西条下見5-10-3 TEL:082-489-6155</p> <p>FRAME 岡町 東広島市西条岡町10-20 TEL:082-429-5488</p>	<p>FRAME 高尾 東広島市高尾町上保田14-1 TEL:082-82-0586</p> <p>FRAME 八木院 東広島市八木町東6-2-11 TEL:082-490-5855</p> <p>FRAME heavy resort 東広島市西条町下見4278-3 TEL:082-490-1586</p> <p>FRAME 広島本通り 広島市中区本通り1-7 TEL:082-259-3388</p> <p>FRAME men's salon 東広島市西条本町11-20 TEL:082-430-7288</p> <p>FRAME Brighton 新1 The greenfield (Kure) (Kure) 2F 02-281-4742</p>
--	---